



■持続可能な交通環境構築に向けたさまざまな取り組み

沖縄では、県民の自動車保有台数が年々増加しています。特に本島中南部都市圏では、交通渋滞が慢性化しており、渋滞によって生活の質や労働生産性が低下し、観光客の円滑な移動が困難となるなどさまざまな影響が生じています。

一方で、路線バスなどの公共交通では、コロナ禍をきっかけとした利用者の大幅な減少による経営の悪化に加え、運転手不足が深刻になっており、マイカーを所有していない人などにとって大切な日頃の交通手段となっているバス路線などの維持が徐々に難しくなっています。

マイカーは便利な乗り物ですが、交通渋滞によるマイナスを減らし、公共交通を維持していくためには、私たち一人一人が、過度なマイカー利用を減らしていくことが必要ではないでしょうか？

県では、持続可能な交通環境の構築に向けたさまざまな取り組みを展開しています。県民が豊かに生活できるようにするために、「沖縄の交通環境はどうあるべきか」、「自分自身はどうあるべきか」を一緒に考え、適度な公共交通の利用に向けて一緒に取り組みましょう。



■令和6年度の主な取り組み

1 わった〜バス利用促進乗車体験事業 (令和6年9月)

期間中の毎週水曜日と日曜日、バス運賃無料の日を実施しました。多くの人にバスを体験してもらい、バス移動の良さを実感してもらうことで、公共交通の利用拡大につなげていくことを狙った社会実験を実施しました。



2 大学などにおけるワークショップの開催 (令和6年10月、12月)

県内の大学や高等学校などで、学生同士がさまざまな視点（学生、就業者、子育て世帯、高齢者、観光客など）に立って「沖縄のありたい姿」とそのための「交通の姿」について、活発に議論しました。



3 移動困難者などに対するヒアリング、アンケートの実施 (令和6年10月～12月)

県内の高齢者、妊産婦、障害をお持ちの方から、日常の交通に関する困りごとや課題と感ずること、「沖縄のありたい姿」とそのための「交通の姿」について、ご意見をいただきました。



4 沖縄鉄軌道導入に係るパネル展示 (令和6年11月～12月)

沖縄鉄軌道の導入に向けて、機運を盛り上げるため、県内の大学などにおいて、沖縄鉄軌道構想の紹介や鉄軌道の早期導入に向けた取り組みなどについてまとめたパネルを展示し、必要性をPRしました。



沖縄鉄軌道に関する専用ホームページを是非ご覧ください！



問い合わせ

交通政策課

電話：098-866-2045

FAX：098-866-2448



県立病院 看護師 募集

LINEお友達登録 ご登録者へ採用試験の日程をご案内いたします

